

経済学演習Ⅲ

必修 4単位

高井 正

1. 授業の概要(ねらい)

この講座は、論文指導を通じて、学位(修士(経済学))を取得するための修士論文を完成させることを目的とする。具体的には、履修者の報告・討論の中で指導を行い、これらによる「財政に関する問題の分析」を通じて修士論文を執筆し、その完成を目指す。

2. 授業の到達目標

- ・院生が、実社会で必要となる資料の作成・発表ができる。
- ・院生が、修士レベルの先行研究の抽出・分析ができる。
- ・院生が、修士レベルの論文の執筆ができる。

3. 成績評価の方法および基準

報告・討論などの授業への貢献度(20%)、先行研究の抽出・分析(20%)、修士論文(60%)などを踏まえて総合的に評価する。

なお、出席率が2/3未満の場合は、元々「成績評価の対象外」であるので「不合格」とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

履修者の研究テーマに基づき、適宜、指示する。

5. 準備学修の内容

- ・報告担当時における先行研究の検索・分析、レジュメの作成
- ・報告担当外の場合の討論コメントの準備
- ・論文の作成

6. その他履修上の注意事項

- ・修士論文テーマが「財政学に関するもの」であること。
- ・大学の学部で「財政学」の単位を「取得済」であること。
- ・大学院の1年次に「地方財政論特講Ⅰ・Ⅱ」及び「経済学(財政学)演習Ⅰ・Ⅱ」を履修済であること。

7. 授業内容

【第1回】	履修ガイダンス
【第2回】	各自の問題意識の確認
【第3回】	各自の学修到達レベルの確認
【第4回】	各自の修士論文テーマの確認、申請
【第5回】	各自の研究計画書の確認
【第6回】	研究計画書に基づく結論(仮説)の確認
【第7回】	学術論文の執筆方式(剽窃の禁止、参考文献・先行研究の引用方法等)の指導
【第8回】	先行研究の検索・抽出
【第9回】	先行研究の分析結果の報告
【第10回】	先行研究の分析結果を踏まえた結論(仮説)の修正報告
【第11回】	研究計画書<修正版>の報告
【第12回】	序論1(本研究の問題意識)<案>の報告
【第13回】	序論2(分析視点・分析方法)<案>の報告
【第14回】	序論3(先行研究における本研究の位置づけ)<案>の報告
【第15回】	序論1～3<修正案>の提出、演習前半のまとめ
【第16回】	序論1～3<修正案>への指導
【第17回】	本論(構成案)の提出、指導
【第18回】	論文全体(序論・本論・結論)の「構成案」の提出、指導
【第19回】	本論1<案>の提出、指導
【第20回】	本論2<案>の提出、指導
【第21回】	本論3<案>の提出、指導
【第22回】	修士論文テーマ<修正版>の確認、申請
【第23回】	結論<案>の提出、指導
【第24回】	本論1<修正版>の提出、指導
【第25回】	本論2<修正版>の提出、指導
【第26回】	本論3<修正版>の提出、指導
【第27回】	修士論文全文(序論・本論・結論)<修正版>の提出、指導
【第28回】	修士論文全文(序論・本論・結論)<完成版>の提出、指導
【第29回】	修士論文(要旨)<完成版>の提出、指導
【第30回】	修士論文<完成版>及び修士論文(要旨)<完成版>への指導、1年間のまとめ